

ワークショップ

Workshop: Our Dreams Come True

【目的】過去3年間 JANARD の活動で得たものを共有するとともに、各団体が互いを知る機会にする。この過程で、共通の「夢」を発見できれば JANARD のビジョン形成にもなる。

【内容】AI の 4D サイクルのうち D2 の Dream ステージを体験。各団体の紹介も兼ねる。同時に、JANARD の夢、目標をみんなで作成する契機となれば幸い。

【進行】

時間：90分

参加者：36人（JANARD メンバー+役人）

グループ：3グループ（各12人程度）に分ける

添付夢形成カードに記入する

(1) カード記入（説明も合わせて40分）

わが団体の夢 [中長期目標]

SMAART (Specific, Measurable, Achievable & Ambitious, Realistic, Time-bound) であること

団体としての具体的な夢を書く

♪例：2010 までに東ティモールで、有機農業を教える農業学校を建設し、経営を軌道に乗せ、東ティモールといえば「有機農業」と世界に知らしめたい

この団体でやりたいこと [個人目標]

参加者個人が所属団体で何をやり遂げたいか、個人の目標

♪例：タイの ABC プロジェクトを成功させたい

3年後はこういう団体にしたい [短期目標]

参加団体の3年後の望ましい姿を想像してみる

♪例：会員を倍増、認定を取る、予算規模3000万円、有給職員2名、事務所を構えている

団体のイメージ

わが団体を動物にたとえると。。。絵を描く

♪例：(▽・w・▽) “ワンワンとワンワールドを実現”

このような世界を上げるために貢献したい [長期目標]

団体としてどのような世界を作るために活動しているのか、理想の世界像

♪例：貧困のない世界、多様性を認め合う世界

団体のビジョン

活動の指針、世界観

「夢」と違うのは、もっと抽象的であること

♪例：どんな人でも、どんな団体でも意志さえあれば一瞬にして変わる。世界の片隅が変われば、世界も変わる

(2) グループ内発表（40分）

12名のグループの中で各人がカードを発表

(3) 全体発表（20分）

各グループを代表して1人がカードを発表

(4) カードは壁に貼り、懇親会のネタにする

【Justification】

- ・1月にバン格拉デッシュで行われたA1研修では、共通の夢を作るという部分で大変な盛り上がりを経験した。
- ・夢を語り合える仲間がいることを発見する（→JANARDの存在意義を盛り上げる）
- ・各団体の夢や理想を語り合うことで「このような世界を作りたい」というところで、各団体が互いに共通するものを見つけてくれたら、それがJANARDのビジョン形成につながると期待する。
- ・それぞれの団体の自己紹介もでき、参加意識も高まる
- ・ただし、具体的な提案を伴わなければ夢は夢で終わる（A1ではこのあとのプロジェクトデザインステージがある）
- ・また、これはA1における4Dサイクルのほんの一部で、部分的体験で全体を知ることとは難しい。これはむしろ、A1を応用したミニワークショップであるという認識で臨みたい。

JANARD

JANARD 総会
2004.7.17

“Our Dreams Come True”

団体名：

氏名

わが団体の夢 (Specific, Measurable, Achievable & Ambitious, Realistic, Time-bound であること)

この団体にやりたいこと (個人)

↑
団体のイメージ
↓

3年後はこういう団体にしたい

このような世界を築き上げるために貢献したい

団体のビジョン